シンポジウム
集合行為と闘争への関与：日仏比較

2008 年 5 月 31 日（土）シンポジウム　　6 月 1 日（日）アトリエ

於　日仏会館　（恵比寿）

主催：日仏会館フランス事務所

協力：IEPI-CRAPUL　（ローザンヌ大学）、CRPS　（パリ第 1 大学）、IRISES–パリ第 9 大学、
茨城大学、一橋大学、徳島大学、神奈川大学

プログラム

5 月 31 日（土）　日仏会館ホール

入場自由・無料　日仏同時通訳つき

9 時 30 分〜9 時 45 分　開会挨拶：フランソワーズ・サバン（日仏会館）

10 時〜11 時 10 分　第 1 セッション　ミリタンティスムの境界：脱参加と非参加

司会：後藤仁（神奈川大学）

オリヴィエ・フィリウル（ローザンヌ大学）「脱参加の社会学のために」

樋口直人　（徳島大学）「アクティビズムの遺産はなぜ相続されないのか：日本における社会運動の担い手をめぐって」

11 時 10 分〜12 時 30 分　第 2 セッション　社会活動家としての生

司会：イザベル・ソミエ（パリ第 1 大学）

相川陽一（一橋大学）「運動経験の散種：三里塚闘争の支援経験者における“参加の持続”をめぐって」

フレデリック・ルスタン（フランス国立社会科学高等研究院）「日本におけるベトナム研究とベトナム戦争世代：都市の反乱と認識論的革命のあいだで」

13 時 30 分〜14 時 40 分　第 3 セッション　学生運動と後継者

司会：オリヴィエ・フィリウル（ローザンヌ大学）

イザベル・ソミエ（パリ第 1 大学）「1968 年：政治的事件と遺産」

後藤仁（神奈川大学）「60 年安保学生運動とその社会的背景」

14 時 40 分〜15 時 50 分　第 4 セッション　移民の位置

司会：稲葉奈々子（茨城大学）

シュクリ・メド（パリ第 9 大学）「1970 年代以降のフランスにおける移民による運動と国家」

エレーヌ・ルバイユ（フランス国際関係研究所）「選択的移民政策の時代を迎えた日本における不法滞在者：合法化を求める運動の出現」

16 時 20 分〜17 時 30 分　第 5 セッション　現代におけるホームレスの運動

司会：シュクリ・メド（パリ第 9 大学）

稲葉奈々子（茨城大学）「“占拠”という技法：フランスにおける“持たざる者”の運動」

ダヴィド＝アントワーヌ・マリナス（日仏会館）「日本におけるホームレスの大義：闘争の戦略と組織の存続」

17 時 30 分　閉会

6 月 1 日（日）　日仏会館 601 会議室

参加ご希望の方は davidmalinas@gmail.com まで E メールで事前にお申し込みください

使用言語：英語

アトリエ

集合行為に関する日仏共同研究：手法と展望

討論者の紹介

13 時～15 時 30 分：フランス側および日本側討論者の紹介

集合行為に関する相互的研究の促進

16 時～16 時 30 分：日仏共同研究プログラム CHORUS（フランス研究庁–日本学術振興会）の紹介

16 時 30 分～17 時：日仏両国におけるシンポジウム論考集の出版計画について

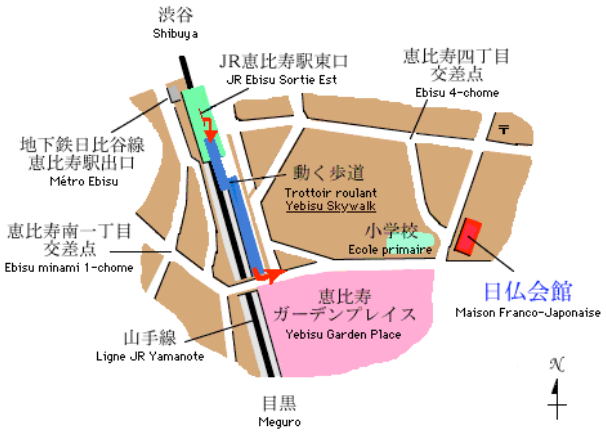
問い合わせ：日仏会館フランス事務所

〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿 3-9-25

tel : 03-5421-7641　fax : 03-5421-7651

http://www.mfj.gr.jp/

＊6 月 1 日（日）に参加ご希望の方は davidmalinas@gmail.com まで E メールでお問い合わせ・お申し込みください



日仏会館へのアクセス：

JR 山手線恵比寿駅東口・東京メトロ恵比寿駅より恵比寿ガーデンプレイス方面に動く歩道を経由して徒歩 10 分

本シンポジウムは日仏交流 150 周年記念行事の一環として開催されます